

キリスト者学生会北陸地区協力会

# KGK

NEWS LETTER 2018.07

No.75

発行日/2018年7月 発行責任/北陸地区協力会

連絡先/北陸地区KGK：〒930-0851 富山県富山市奥田双葉町1-40 飯沼方

郵便振替：00790-5-45068 KGK 北陸地区公式 HP アドレス：<http://church.ne.jp/kgk-hokuriku/>



## ◆ はからずも ◆

高野 基史（日本福音キリスト教会連合 新湊キリスト教会伝道師）

新湊キリスト教会に導かれ、あっという間に一年が過ぎ二年目にはいりました。十分に奉仕ができてきているのか、ただただ不安だけが残りますが、なんとか先生を始め、教会の方々に支えられ働かせていただいています。

時々、不思議に思う時があります。なぜ自分は富山県に導かれたのだろうか？その度に、自分の思いをはるかに超える主のご計画を実感させられます。

私は、福島県で生まれ育ちました。地元の中高、そして仙台の大学へ進みました。大学在学中に信仰を持ち、聖書の学びをしたいと卒業後カナダの聖書学校に留学しました。けれども、英語での学びは大変で、自分の無力さをただ多々痛感する日々でした。同時に、主に頼らなければ生きていけない状況に、信仰が確かにされた時間でもありました。

その後、私は大きな転機を迎えました。それは2011年3月11日に起こった「東日本大震災」です。地元福島を襲った大災害に、私はカナダにいて何もすることができない歯がゆさに苛まれました。何か自分にできる事があるのではないかと、そう思い祈り始めました。祈りの中で日本に戻る事を示され、帰国後ある宣教団体を通して、宮城県沿岸部を中心に二年間支援活動をさせていただきました。

無我夢中で続けた支援活動でしたが、大きな葛藤を覚えました。キリスト者として、神の愛を多くの人に分かち合いたい、そう思って始めた活動でした。しかし、被災地の現実を目の当たりにする時「なぜこんな事が許されるのか」そんな思いが湧き上がりました。そして私はすべてを亡くされた方々に何を語る事ができるのだろうかと悩みました。

そんな時に、ある教会を訪問しました。献堂したばかりの会堂が津波で流されてしまい、信徒さんが経営する印刷工場の一間を使い礼拝を捧げていました。困難な中であっても主を礼拝している姿に心うたれました。そして、会堂に掲げてあった大きな御言葉が目に入りました。それは、「大水も主の愛を押し流す事はできません」という雅歌の御言葉でした。

どんな状況にあっても変わらない神様の愛があることの確信を再びいただきました。

支援活動を続ける中、改めて主の愛を伝えなければならぬ多くの人がいることを改めて思わせられました。誰かがしなければならぬ。そして自分がその働きに召されていることを示され献身へと導かれました。

その後、神学校へ入り、三年続けて富山県の教会で奉仕神学生として奉仕させていただきました。このことを通して、主が私をこの富山に導いてくださっている事が示され、今新湊キリスト教会で奉仕をさせていただいています。

想像もしていなかった、北陸の地。しかし、これまでも私の人生を導いてくださった主が、私を今ここにおいてくださっていることを覚えます。

私は、今ルツ記からメッセージをさせていただいています。改めてルツ記を読みながら、主の慰めに感動しながら御言葉に向き合っています。

ルツ記2章3節にはこんな御言葉があります。

「ルツは出かけて行って、刈り入れをする人たちの後について畑で落ち穂拾い集めた。それは、はからずもエリメレク一族に属するボアズの畑であった。」

「はからずも」ボアズの畑であった。たった一言「はからずも」。聖書はこの一言で、果てしなく大きい神の計画を私たちに教えてくれます。私たちは、自分の計画をはるかに超えた奇しい神の摂理に、大きな希望を覚え

ます。

わたしたちの歩みにも、多くの「はからずも」があると思います。しかし、信仰持って歩むときに、それは主の導きへの確かな希望となります。

この北陸の地にあっても私たちの計画を超えて、主の素晴らしい御業がさらに表されていき、また KGK の働きが教会の大きな励ましとなってくださる事をこれからも期待しています。

同じ北陸での主の働きのために、私も場所は違いますがお祈りしています。

## KGKタイムズ



### —卒業生プレゼンツセミナーに参加して—

K大 3年 小村



6月16日に、金沢独立キリスト教会にて岡田仰先生に講演をしていただきました。私は6月1日までフィンランドに留学しており、今回の卒プレゼンセミナーが行われることを直前になって知り帰国間も無くでしたが、急遽参加させていただくことにいたしました。それは、私が留学中に考えさせられていた「奉仕」が今回の講演のテーマとなっていたからです。

イエス・キリストが仕えられた姿勢は聖書では「ディアコニア」という言葉で示されています。その意味は「奉仕、仕える、もてなす」などの意味があるようですが、フィンランドの教会には文字どおり「ディアコニア」という活動がありました。ディアコニアは、高等教育機関で正式に認められた資格を持ったディアコニアワーカーが中心となり、地域の人たちに仕える働きをされています。フィンランドでは、アルコール・薬物依存、高齢者の一人暮らし、移民の受け入れなどが問題となっています。この国は幸福度 No.1 の国、福祉国家としても有名であり公のサポートもしっかりとされています。しかし、それでも公のサポートが行き届かない場所が存在しているのです。そこで、教会が中心となりボランティアを募り貧しい人々への衣類、食事、お話をする場所の提供をしています。フィンランドでは国教会としてルーテル福音教会が存在していますから、教会が社会的なサポートを行うことは社会システムの一部として捉えることができるかもしれません。しかし、そのことをもって日本で教会が社会的な問題に取り組むことは難しいということにはできないように思います。

岡田先生もおっしゃっていたように人々に仕えることを通して、人は品位を備えていくように思います。私はそれをフィンランド国民の中に感じることができ、とても良い国だなと思わされたのでした。ディアコニアで出会った一人の女性は言っていました。「フィンランドは税金が高いことで有名だけれども、私はもっと税金を上げてもいいと思っている。私は服を2枚以上もつことができているし、食事も毎日食べることができている。しかし、この国に難民としてやってくる人のなかには最低限のものすら手にすることができない人たちがいる。そういう人たちにちゃんとした支援がなされるのであれば税金を引き上げることに賛成だ。」このとてもシンプルな言葉を日本で口にするにはどれほどの遠回りが必要なのだろうかと思わされます。

イエス・キリストを信じるものは仕えるものとして歩むことが求められており、キリストの姿にならうときに、神さまの見ておられる世界、その愛の深さを知ることができるようになります。マザーテレサが祈ったように、私たちが平和の道具とされ用いられキリストに似たものと変えられていきますように。



## 飯沼偲主事の活動報告



お祈りお支えくださりありがとうございます。

4月以降の活動を報告させていただきます。今年も教会から新入生情報を頂き、期待に胸を膨らませ新しい年度がスタートしました。ご紹介くださった方々に感謝いたします。学生たちは新歓期にチラシ配りを予定していましたが、「ちゃんと受け取ってもらえるか」「変な目で見られないか」など心配や葛藤を持ちつつも、祈禱会などで学生同士励まし合いながら、各学内で配ることができ感謝でした。6月は上記の学生の証にもありますが卒業生プレゼンツセミナーが開かれ、岡田仰先生を通して、「奉仕」について学ぶことができました。岡田仰先生の教会の働きも教えていただき、地域に対しても奉仕するということはどういうことか考え、分かち合いを学生・卒業生、様々な世代で話すことができました。また、6月全体を通して「聖研行ってきます月間」が行われ、各学内を励まそうと学生たちがそれぞれの大学を回り、学生会年間テーマの「祈り」について聖研をしました。私たちが普段している祈りと、パウロが祈る祈りを対比してみることによって、祈りの豊かさや、私たちに与えられている御言葉の宣言を確認し、祈りが深められる聖研をすることができました。7月は「聖書の前に行ってきます月間」が行われており、テスト前の忙しい時でも、デボーションなどを行い、御言葉によって生かされ一日を始められるよう励まし合っています。学内の聖研も前期の終わりが迫る中で、学内の友人を夏期学校に誘おうと祈りながら、学びを続けています。

## キャンパスレポート

学生に KGK をご紹介くださり、KGK にも学生をご紹介くださいましたら幸いです。

- T 大 : T キャンパスで聖書研究会が続けられています。毎回 5 名前後、多い時は 10 名を超す参加者が集められ福音が伝えられています。立てられているリーダーのためにお祈りください。
- K 大 : K キャンパスでは、少人数でながら聖書研究会が開かれています。準備をする学生のために、また友人を誘い、共に聖書を開き福音が伝わるようにお祈りください。  
T キャンパスでは、昼の短い時間において聖研を始めています。実習など忙しい学生も多い中、その場所が用いられ、クリスチャンとして成長していくことができるようにお祈りください。
- KB 大 : 新しいメンバーも加えられ、聖研が続けられています。1 年生から集まっている最終学年のノンクリスチャンの学生が救われ、教会につながるができるようにお祈りください。
- KK 大 : 新入生も与えられ、定期的に聖書研究会が行われています。また、1 週間を覚え学内で祈禱会も開始することができます。続けて祈り続け、救われる魂が与えられるようにお祈りください。
- KG 大 : クリスチャン学生が与えられ他大学聖研に参加していますが、学内活動はまだありません。学内活動が行われ、学内のために祈ることができるようにお祈りください。
- F 大 : B キャンパスでは、不定期ですが聖書研究会が開かれています。ノンクリスチャン学生も与えられ、共に聖書の御言葉を読んでいます。クリスチャンの成長と学内の救いのためにお祈りください。  
M キャンパスでは、学内活動が休止していますが、FK 大に参加しているノンクリスチャン学生がいます。KGK に関わり学内活動を行うクリスチャン学生が与えられるようにお祈りください。
- FK 大 : 数名のノンクリスチャン学生が集められ、聖書研究会を行っています。メンバーが上級生が多いので、継承のためにクリスチャン学生が与えられるようにお祈りください。
- FK : 6 月に今年度初めての聖研をすることができ、そこから続けて行われています。集まっているノンクリスチャンが救われるように、また後継者が与えられるようにお祈りください。

その他、KGK に関わっている学生がいる学内や学内活動のない学校で祈り会や聖研が始められるようにお祈りください。またご紹介いただいている学生たちとコンタクトをとり、交わりが与えられ、KGK 活動に関わってもらえるように適切な働きかけができるようにお祈りください。

## お知らせ

### 各県卒業生会

富山・石川・福井 各県月 1 回 新しく、関西でも北陸地区の集まりが開始されました！  
卒業され何年か経過された方、学生時代 KGK に参加されなくても興味がある方など、ご参加頂けましたら幸いです。参加される方は飯沼までご一報ください。

### 夏期学校（学生のみ、一部卒業生参加可）

日時：8月28日（火）-31（金） 会場：砺波青少年の家  
30 日夜のプログラムに卒業生も参加することが可能です。

### 卒業生合宿

日時：10月7（日）-8日（月・休）  
講師：池淵亮介主事  
テーマ：聖書から学ぶ恋愛・結婚

### KGK セミナー

日時：10月20日（土）13:00-16:00 会場：金沢めぐみ教会  
テーマ：「なぜクリスチャンは天皇制を問題とするのか」  
講師：山口契先生（金沢中央キリスト教会副牧師）

### HP も随時更新中

4 月の転勤などで住所を変更された方は、飯沼までご連絡ください。